

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

加美東	学校	児童数	51
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.70	16.90	31.00	32.50	42.50	9.20	156.40	16.30	47.70
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	13.90	15.30	35.80	32.30	32.90	9.60	149.10	12.80	50.20
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

- ほとんどの種目において、大阪市平均を下回る結果となった。大阪市平均を超えているのは、男子は、立ち幅跳び。女子は、立ち幅跳びとソフトボール投げであった。
- 「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答に関して、肯定的な回答を示した割合は約90%となった。
- 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒は、約25%となった。
- 現在の5年生は、いろいろなスポーツを習い事として行っている児童が多い。その中でも、バスケットボールを習っている児童が約25%いる。バスケットボールは、瞬発力を鍛えられるスポーツのため、瞬発力が必要な立ち幅跳びにつながったのだと思う。また、バスケットボール経験者を中心に休み時間はバスケットボールを楽しむ姿が多くみられた。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

取り組み：学校での取り組みは、かけあし週間やなわとび週間を行った。
学級での取り組みは、みんな遊びや体育の学習での活動を行った。

成果：学校や各学級でこれらの取り組みを行った結果、自主的に外に出る児童が増えた。なわとび週間を行った後は、低学年を中心にいろいろな技に取り組む児童が増え、お互いに教えあう姿も見られた。かけあし週間を行った後は、高学年を中心に運動場を走る児童が増え、たくさんの児童で競い合う姿が見られた。

課題：アンケートでは「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答に関して、肯定的な回答を示した割合は約90%であった。しかし、体力測定では、ほとんどの種目で大阪市平均を下回っている。運動に関して、楽しむことは好きだが、上達する気持ちは少ないと感じる。今後、学校としては、「もっと上手になりたい！」「もっとやってみたい！」と思わせるような活動を考えていかないといけない。